

改良型微流速測定装置



概要

改良型微流速計は、ボーリング孔内での地下水の流速を直接、かつ高精度に測定する装置です。従来機で発生していた検出羽根部の脱落、光学式キャプチャー部の感度不足を改善したものです。

また、検出羽根部とフレームの一体化、及びファイバーセンサーの組み込み等の改良により安定した計測が可能となりました。

測定は、タイマーを設定し、一定時間(任意な時間も可能)測定することにより、回転数と時間との対比で流速を算出します。

装置自体もコンパクトに設計されており、測定作業や運搬を容易に行うことができます。

特長

- ◆ ボーリング孔内で計測することができるようにコンパクトに設計されています。
- ◆ プローブは、水の流れを乱すことが少ないように設計されています。
- ◆ 検出羽根の比重は、水の比重とほぼ同じです。
- ◆ 流速の測定は、2～200cm/secの広範囲にわたって可能です。
- ◆ 小型軽量のハンディタイプとなっており、現場への搬入が容易です。
- ◆ 測定データはSDカードに収録でき、データフォーマットはCSV形式で保存していますので、パソコンでのデータ処理が可能です。
- ◆ 電源には、アルカリ乾電池(単 1×4 個)で利用可能です。
- ◆ メニュー画面は日本語表記を用いていますので取扱いが簡単です。
- ◆ シープの使用により、深度を判別できます。

用途

- ◆ トンネルの湧水量調査、透水性調査
- ◆ ダムサイト基礎岩盤の透水性調査
- ◆ さく井孔の湧水量調査、滞水層の判定
- ◆ 軟弱地盤(砂礫層)の透水性調査